

第62回 全大阪学年別珠算競技大会

平成31年2月3日(日)
大阪商業大学



No. 339

発行所
公益 全国珠算教育連盟
社団法人 大阪府支部
<http://www.web-g.jp/osaka88/>
E-mail: osaka88@web-g.jp
〒552-0001
大阪市港区波除2-8-14
TEL 06-6583-6222
発行者 櫻井行雄
編集者 上村 亘
印刷 広報部



平成31年2月3日(日)大阪商業大学において第62回全大阪学年別珠算競技大会が開催された。

競技会参加者は22

7名(2年生以下の部15名、3年生の部38名、4年生の部39名、5年生の部48名、6年生の部50名、中学生の部37名)、昨年に比べ50名程参加者が減ったが、競技会場内には熱気があふれていた。

初めに櫻井支部長が挨拶。2月3日が節分であることから「競技(練習)の鬼となつて、優勝を勝ち取ってほしい!検定試験とは違って、優勝者は1人です。日頃の成果を十分に出して、今日が記念日となるような大会にしてください」と話し選手を激励した。

競技は総合競技から行われた。演技委員の威勢の良い掛け声で乗算からスタート。終了後は生徒同士による交換採点が行われた(2年以下・3年生の部で

は乗算・除算は審査室で採点、見取・見取暗算が交換採点。交換採点の後は、さらに自己採点を行い会場での採点を終えた。

続いて読上暗算が行われた。予選は1桁10口からスタート、4〜7桁までの15問の問題が読まれた。中学生の部ではただ一人15問に正解した乾ほの香選手が断トツの優勝を果たした。3年生では3〜6桁に正解した廣瀬慧和選手が優勝した。

いづれの学年も入賞(3位)は3〜4桁の正答が入賞ラインとなった。(2年生以下は2桁)

読上暗算の後、順位決勝が行なわれた。団体では準優勝と2位が同点であったため(5710点)各学年5名による決勝がおこなわれ、ピリピリと張り詰めた雰囲気の中、わずかな差で真上珠算教場が準優勝を勝ち取った。昼食後は読上算が行われた。予選は2桁から始まり7〜11桁

(10口)まで読み進んだ。3年生では14問正解(7〜10桁)した中谷謙士朗選手が他を大きく引き離して優勝した。また2年生以下では7問正解(4〜6桁)した3名で決勝が行なわれ、阪本将清選手が競り勝った。

表彰式終了後は、油井参与が講評を行い次のように話した。「来年に向け、まめに(豆)に練習してほしい。今回、満点(1400点)は出なかったが、3年生で中谷謙士朗選手の1390点、幼年長からの4回連続の個人優勝は凄い事である。また、2年生以下の部で優勝の田中里奈選手が1年生ながら1000点を超えることは素晴らしい。3冠王となつた乾ほの香選手には来年満点を期待している」と話して競技を締めくくった。

学年別珠算競技大会は午後3時20分に無事終了した

上村



競技会場風景



準優勝：真上珠算教場



優勝：マルタそろばん教室

【大会成績】

団体総合競技
優勝 マルタそろばん教室

準優勝 真上珠算教場
(六一五〇点)
(五七一〇点)

個人総合競技

小学二年生以下の部
優勝 田中 里奈
(一〇四〇点)

準優勝 阪本 将清
(一〇三〇点)

小学三年生の部
優勝 中谷謙士朗
(二三九〇点)

準優勝 山田 茉奈
(二二三〇点)

小学四年生の部
優勝 高見 友梨
(二二六〇点)

準優勝 田中 智章
(二二六〇点)

小学五年生の部
優勝 信原 真尋
(二二八〇点)

準優勝 廣瀬 蒼和
(二二一〇点)

小学六年生の部
優勝 廣田いち花
(二二九〇点)

準優勝 千年原 朱
(二二九〇点)

番外競技

読上算優勝
中・高生の部
優勝 乾 ほの香
(二三八〇点)

準優勝 武石 悠愛
(二三四〇点)

二年生以下の部
読上算優勝
中谷謙士朗
三年生 高見 友梨
四年生 西畑すみれ
五年生 矢島 由菜
六年生 乾 ほの香

読上暗算優勝
二年生以下の部 将清
三年生 廣瀬 慧和
四年生 松本 梨更
五年生 高濱 匡史
六年生 田中 優希
中高校生 乾 ほの香

皆さん

おめでとうございます



中・高生の部



6年生の部



5年生の部



4年生の部



3年生の部



2年生以下の部

新春はじき初め式

平成31年1月3日
(木)、大阪天満宮において恒例の新春はじき初め大会が開催された。未だ暗闇が残る、朝6時30分から会場設営に入り、澄み切った空気に神社の厳かな雰囲気の中、清々しい気持ちで準備に入った。今年も絶好の天候に恵まれ、天満宮にも朝早くから参拝客が押し寄せ、賑わいを見せていた。その中で行われた新春はじき初め大会にも多くの参加者が詰めかけた。



午前9時20分には、開催の2時間近く前から門前で並んでいた参加者達が、笑顔をほころばせながら設営された会場に入り、神主からお祓いを受け、3桁5口の読上げ算に挑戦した。「簡単！答えがあったよ！」と保護者にとガッツポーズする子どもたちの明るい笑顔が、寒ささえも吹き飛ばす

また、今年も海外実習生による英語の読上算が行われ、周りを取り囲んで眺めていた参加者からもひとときわ熱い視線を浴びた。英語のほか、中国語、イタリア語、ポルトガル語と言った読上げも紹介された。大いに盛り上がった。この勢いで大阪珠算界の更なる躍進を期待したいものだ。

上村

平成31年度 生徒作品入賞者

【作文の部】

応募総数 183 作品

【ポスターの部】

応募総数 42 作品

〈最優秀賞〉

大上 真夢

堺市立

はるみ小学校 6年

〈最優秀賞〉

早田 葵

大阪市立

林寺小学校 3年

〈優秀賞〉

打江 史帆

東大阪市立

森河内小学校 6年

田中 智也

大阪市立

淀川小学校 6年

新海 美澄希

守口市立

八雲中学校 1年

〈優秀賞〉

新井 仁菜

門真市立

門真小学校 6年

藤本 瑠里

豊中市立

緑地小学校 6年

〈審査員賞〉

清水 咲良

豊中市立

豊島小学校 5年

井上 莉杏

大阪市立

川北小学校 2年

下地 克治

富田林市立

川西小学校 1年

〈審査員賞〉

亀井 優芳

堺市立

はるみ小学校 5年

平 琴羽

豊中市立

第六中学校 1年

宮脇 瑠菜

関西大学

北陽高等学校 1年

作文の部 最優秀賞

「自分自身との戦い」

六年 大上 真夢
五才から始めたそろばん。

それから七年、今一番大きな壁にぶちあたっています。「競技大会」という壁と「進級」という二つの壁です。

小学二年生の夏、はじめて競技大会に出してもらえた時は、でることへの嬉しい気持ちだけでウキウキしていました。その気持ちのまま大会に出たので、今ではよく覚えていません。

学年が上になってくると、ふだんの練習も難しく、周りのお友達もどんどんうまくなってきて、気持ちだけがすごくあせて、小さなミスを何回もしたりしました。

したり、泣いたりもしました。同じ教室のお友達とは仲良しだけど、おたがいに良いライバルだと思っっています。もちろん、一つ上の姉にも負けたくない気持ちでいっぱいなんです。なので、大会前になると、毎日姉と一緒にタイムを測ったりしながら、練習にはげみました。練習しながら少しでも解ける問題数が増えると嬉ししいし、身近に相手がいると、やる気が出るけど、除算への苦手意識がどうしても消えなくて、この壁をのりこえないと、優勝は難しいことも、自分でわかっています。

今は心がけています。こんなに長い間ひとつの習い事を続けているのはめずらしく、自分でもビックリしています。なんでこんなにがんばろうと思えるんだらうと考えた時、やっぱり「一番好き」と思っただけなんです。いつもお母さんに、「何か一つでも好きなことを見つけてずっと続けなさい」と言われたことを思い出しました。

もうすぐ、大会や試験があるので、自分自身との戦いが始まります。今度こそ悔いのない結果になるように毎日、特訓していきたいと思っています。そして、将来そろばんを活かせる仕事につきたいです。

【総評】

今回も、作文・ポスター部門にたくさんの方々が集まりました。今年、小学生はもちろんです。中学生の応募も多く、珠算経験が長い分、ここまで来るのに、いろんな想いがあつたんだという心の内が、作文やポスターにとってもよく現れていました。

ポスターの部では、低学年でも細やかなタッチのものも多く、また、男女問わず鮮やかな多色使いが特徴で大変綺麗でした。

構図も、子どもは色んな視点からそろばんを見ていくというのがとてもよくわかり、私たちが普段気にしない

ところからのアップだ
つたりと、視点の低い
子どもだからこそその作
品も多く、感心させら
れました。

作文の部では、今こ
こに至るまでの道のり
や習うきつかけからの
書き出しが多いのです
が、一人一人様々な思
いを秘めてそろばんを
始め、たくさん練習し、
時に叱られ、時に検定
で失敗を重ねて、それ
でも周りの温かい応援
で再び立ち上がり、強
くなっていく。しっか
りとした目標を持ち、
これまでの失敗と頑張
りを活かして、そろば
んも他のことも頑張っ
ていきたいという、読
んでいて非常に心温ま
る作品が多かったです。
子どもから中学生にな
る時期の心の内は、本
当に複雑で対応も難し
いのですが、今回もた
くさんの心の内を覗か
せていただき、今後の
対応に活かしていきたい
と思います。

来年度もたくさん
ご応募、お待ちしております。
研修部長 田中三智子



審査員賞 亀井 優芳



審査員賞 宮脇 瑠菜



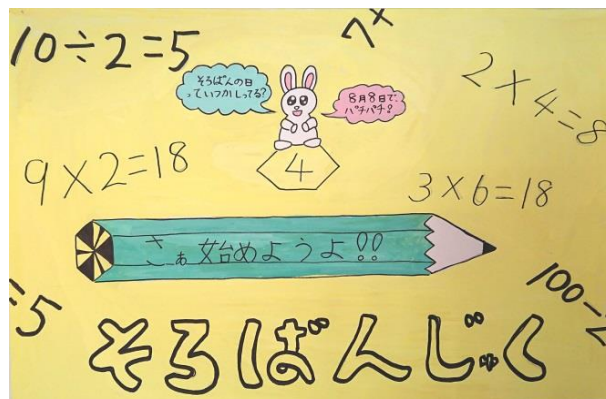
審査員賞 平 琴羽



ポスターの部最優秀賞 小学3年早田 葵



優秀賞 藤本 瑠里



優秀賞 新井 仁菜

人材育成講習会

「1地区

久手堅大成」

平成30年12月22日(土)から24日(月)までの3日間「メルパルク京都」において開催された第7回人材講習会に参加させて頂き

方から、「大変やでえ。」「しんどいけど頑張っておいでね。」とエールを頂き、どのような3日間になるのだろうかという不安と楽しみで日々を過ごしていました。支部創立65周年記念式典の用意等、忙しい日々を過ごしている

と、あつという間に当日を迎えることになりました。大垣先生と一緒に楽しく京都に来たつもりが、会場に入ると受講者の先生方から伝わる緊張感。樂觀的な僕もさすがに「あかん。場違いすぎる。」と背筋の凍る思いがしました。開講式では平上理事長、

澤田研修学教委員長のご挨拶の後、3日間のスケジュール等が読み上げられた。3日間で8講座・自己紹介・支部自慢・班ごとの発表があり、改めて大変な3日間と考えさせられた。



初日は、第1講座「全珠連史」・第2講座「検定運営」・第3講座「学校における特別支援教育」等の講座があり、その後、自己紹介・支部自慢があり、大阪府支部からは65周年創立記念祝賀会の写真と全大阪学年別珠算競技大会の問題、全珠連お

おさかの3点を資料として紹介した。2日目は大垣憲造先生による

第4講座「珠算史・算法」から始まり、実技においては八算わり声を使った帰除法の指導があった。わり声の存在は知っていたが、実際にどのように使用し運珠に至るのかは全く知らなかったもので、とても楽しい時間であった。

第5講座「算教科・筆算」第6講座「PC活用法」各班での発表と続いた。班発表では、「5の補数」「10の補数」のスムーズな指導方法の題目で6班に分かれ、自塾の指導方法を紹介しながら発表していた。懇親会では、他府県の先生方と交流を深め、平上理事長・工藤副理事長や重鎮の先生方とお話しする機会を頂きました。なにより嬉しかったのが、

支部創立65周年記念祝賀会で若手会員からプレゼントさせて頂いた金髪のカツラをつけ、澤田研修学教委員長が登壇し会場を最高潮に盛り上げ、大垣先生と僕を呼ばれ、皆さん

に紹介して頂いたことでした。このような場においても大阪の若手会員に気をかけて頂けることは感謝しかありません。懇親会の最後は澤田先生の一声から、本部の先生方・受講者全員が手を繋ぎ、輪になりながら全珠連歌を合唱したことはとても楽しい思い出となりました。

最終日、第7講座「自らの資質向上を目指して」から始まり、第8講座「生徒指導におけるコミュニケーション力」をもって全ての講座が終了しました。閉講式では平上理事長から一人一人に修了書を手渡され、改めて身の引き締まる思いで終えることができました。毎日、レポートを提出したり、打ち合わせをしたりと大変な3日間ではあったが、その何倍も楽しい3日間でした。

最後に、人材育成講習会を振り返って、大垣憲造先生のそばに

の膨大な知識とそばんへの愛情、澤田悦子先生のそばんに携わる全ての人達(先生・生徒・保護者等)への愛情、大阪府支部には素晴らしい先生がたくさんおられることを認識し、同じ支部であることを改めて誇りに思いました。このような機会を与えてくださった櫻井支部長、支部の諸先輩の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。

「4地区

大垣真一郎」

昨年12月22日から24日までの3日間、全国各地より40名近い先生方と、第7回人材育成講習会に参加させて頂きました。大阪府支部は1地区、久手堅大成先生と私が参加することになりました。講習会は、非常に内容のある8講座を3日間受講致しましたが、どの講座も大変勉強になりました。理事長の全

珠連史の講習から始まり、色々な算法、筆算と珠算の比較、生徒に対する接し方やPC活用法など内容は沢山ありました。そして、8講座とは別に、3日間を通しての課題がありました。講習で班に分かれて、どのような生徒でも理解できる初期指導(5の補数・10の補数)という課題に取り組みました。初期指導において私は、10の補数より指導しておりますが、講習で未就学児から小学校1年生ぐらいまでにかけては5が一旦区切り(特異数と呼ぶそうです)になるという研究データがあると知り、様々な指導を考えていく機会になったと思いました。

期間中に提出するレポートも数枚あり、仕上げるのに夜中までかかった大変さはありましたが、自分の考えをまとめ文章にする作業がとても大切な事だとあらためて感じさせられました。

しかし、大変なことでありませぬ。2日目の夜は懇親会を開いて頂きました。楽しいお酒の席でたくさんのお話してきたのはもちろん、最後は、皆さんと大団円の大合唱にて終了することができました。貴重な懇親会になり、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。

講習会は終わりましたが、今後も、勉強できた内容を忘れずに、その日から出来るものもあれば時間のかかるものもあります。少しでも実践実行していきたい、日々の仕事に活かしていければと思います。

最後に研修学教委員会の皆様や関係者の方々のおかげで受講できたことに感謝致します。

諸会議行事報告

〈現・新常任委員・地区長合同委員会〉

- | | | | | | | | | | | |
|----|------------------|----|-------|-----|------|----|--|---------------------------------------|---|--|
| 日程 | 平成 31 年 1 月 14 日 | 場所 | 支部会議室 | 出席者 | 29 名 | 議題 | 1. 本部・支部・近畿
ブロック・近畿連
合・大阪連合状況
報告
2. 平成 31 年度 32 年
度支部新地区長・
新常任委員の紹介
お年玉年賀はがき
抽選会
3. 第 62 回全大阪学年
別珠算競技大会の
件
4. 第 64 回優秀生徒
表彰式典の件
5. 各執行部報告
6. 支部長立候補選挙 | 3 / 17 第 64 回優秀生徒
表彰式典
(大阪中央公堂) | 3 / 24 第 390 回検定試験
本部支部連絡協
議会・分科部会
3 / 30 臨時社員総会・
分科部会・珠算
教養講座(青森)
3 / 31 研究集会(青森)
4 / 7 全日本選挙会・
新常任委員会 | 画面・予算案審議
について
3. 第 64 回優秀生徒
表彰式典について
4. 各執行部報告
5. その他 |
| 日程 | 平成 31 年 2 月 17 日 | 場所 | 支部会議室 | 出席者 | 17 名 | 議題 | 1. 本部・支部・近畿
ブロック・大阪連
合会・近畿連合会
状況報告
2. 平成 31 年度事業計 | 3 / 26 第 391 回検定試験 | 5 / 19 現新常任委員・
地区長合同会議
・近畿連合総会 | |
| 日程 | 平成 31 年 2 月 17 日 | 場所 | 支部会議室 | 出席者 | 17 名 | 議題 | 1. 本部・支部・近畿
ブロック・大阪連
合会・近畿連合会
状況報告
2. 平成 31 年度事業計 | 3 / 26 第 391 回検定試験 | 5 / 19 現新常任委員・
地区長合同会議
・近畿連合総会 | |

行事予定

平成 31 年
そろばん年賀はがき当選番号

特賞 高級ツゲ玉そろばん
0 2 2 6

1等 マルチフォンデュメーカー
0 7 3 2・1 0 4 4・2 2 2 3

2等 手作りそろばんキット
0 4 9・1 0 3・2 0 4・3 2 1
4 0 6・5 8 9・6 0 1・7 5 7
8 1 7・9 1 5(下3ケタ)

3等 木製そろばんキーホルダー
0 8・1 5・2 0・3 3・4 7
5 0・6 1・7 3・8 7・9 9
(下2ケタ)

※全珠連大阪府支部において、はがきに印字した抽選番号です

支部交換期間
平成 31 年 2 月 1 日から
平成 31 年 4 月 30 日まで

4 月 検 定 試 験 の お 知 ら せ
(珠算 4~15 級・暗算 1~10 級)

申 込 締 切 4 月 1 0 日 (水) 午 前 1 0 時 迄
結 果 報 告 締 切 5 月 7 日 (火) 午 前 1 0 時 迄
※期日は厳守してください
※受験者増加をお願いします



第 389 回 全 国 珠 算 教 育 連 盟
珠 算 検 定 試 験

十 段 合 格 假 屋 空 翔

学 校 名 大 阪 明 星 学 園
中 学 校 1 年

近畿珠算教育強化連合総会

開催日時 5月19日(日) 午後3時
会場 アートホテル大阪ベイタワー
※詳細は、支部から連絡があります

支部臨時総会

開催日時 平成31年4月14日(日)
午後3時
会場 アートホテル大阪ベイタワー
※多数の参加をお願いします